

令和2年予算決算委員会第2分科会会議録

1. 招集年月日 令和2年9月11日
2. 招集の場所 可児市役所5階第1委員会室
3. 開 会 令和2年9月11日 午前11時32分 分科会長宣告

4. 審査事項

協議事項

1. 予算決算委員会の提言、委員長報告に付すべき意見について

総務企画・建設市民 所管

①〔災害に対応できる河川や道路の構築〕

自然災害での特にハード面（道路・河川）での対応。自治会要望でもあるので、しっかり対応してほしい。

②〔空き家・空き地対策〕

空き家・空き地の対策として、可児市空き家等対策協議会が空き地の管理推進協議会で対応しているが、空き家に重点がおかれているが空き地の管理もしっかり対応してもらいたい。

5. 出席委員（6名）

分科会長	中村 悟	副分科会長	渡辺 仁美
分科会委員	林 則夫	分科会委員	野呂 和久
分科会委員	酒井 正司	分科会委員	川上 文浩

6. 欠席委員 なし

7. その他出席した者

予算決算委員長	山田 喜弘	予算決算副委員長	伊藤 壽
---------	-------	----------	------

8. 職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	宮崎 卓也	議会総務課長	梅田 浩二
議会事務局書記	林 桂太郎	議会事務局書記	松倉 良典

が、そのことについてほかの委員の方からも御意見ありましたら。

文章等はまた後でちょっと皆さんにお伺いしますが、取り上げるかどうかということについてはどうでしょう。

○分科会委員（川上文浩君） 取り上げることはいいとは思いますが、どういった意味合いで形にするか、落とすところをきちっとしておかないと、今まで空き家は提言を何度も出している部分があるので、今、酒井委員おっしゃったように、そういう問題もあるんだけど、今コロナ禍で都市部を離れたがっている人も大分増えてきているという部分もあって、そういう部分では、そういったことの予算措置ができる状況にあるとは思いますが、ちょっと明確にその辺の的を絞っておいたほうがいいと思います。

付け加えて1番ですけども、第1分科会で入っていただいているので、これでいいかもしれないし、私が気づくとほかにも今回出さなかったですけども、分科会でまとめればなあということではほかにも提案したいことがあるので、それは後ほど意見として言わせていただきたいと思います。

○分科会長（中村 悟君） 今、①のほうも言われましたが、取りあえず①のほうは第1分科会のほうで上げていただいておりますので、まずこの災害のことについては、ちょっとそのまま①のほうでというふうでよろしいですか。

ほかに御意見のある方。

〔挙手する者なし〕

それじゃあ、さっき②のほうからと言いましたが、まず①のほうからお伺いします。

①のほうの災害に対応できる河川や道路の構築ということにつきましては、第1分科会のほうで取りあえず提言を含めた部分で出しているようですので、この第2分科会としては取り上げないというか、第1分科会のほうに任せる、これはまた全体でやるんですよ、たしか予算決算委員会で。なので、またそこで何かあれば調整をしてもらおうという考え方もいいかなと思うんですが、取りあえずこの第2分科会としては、今の①の問題については改めてここからは出さないということよろしいですか。

〔挙手する者なし〕

それじゃあ、①の災害に対応できる河川や道路の構築については、この第2分科会からは提言としては出さないと、案としては出さないとということよろしいですか。

〔挙手する者なし〕

じゃあ、そういうことで進めさせていただきます。

②の空き家・空き地の対策についてということですが、先ほど川上委員言われたように、いろんな意味で今までもいろいろ提案というか提言をしていますが、どういった目標というか、どういう目的でどういう文章にするかということに関わってきますので、先ほど酒井委員は、大学もできてそういう学生もあの地区に増えるので、そうした空き家を利用した活用方法があるんじゃないかと、そういうのを進めていくべきではないかという御意見だったんですが、そのことも含めて何か御意見がある方、ありましたら。

なので、それも含めてこの空き家・空き地対策についてということをもまず取り上げるということについては、御意見ある方、見えますか。ほかに。

[挙手する者なし]

じゃあ、とにかくまず取り上げていくということによろしいですか、皆さん。

あとは、目標、どういう趣旨になるかということになるんですが。じゃあ、取りあえず取り上げるという前提で、今の酒井委員言われたように、何をどういうところを目標で出すかということになるかと思うんですが、これについて何か具体的に意見がある方ございますか。

○分科会委員（川上文浩君） ちょっと自由討議を入れさせてもらって。

○分科会長（中村 悟君） これから、自由討議を始めます。

○分科会委員（川上文浩君） 今まで提言を出してきて、どの方向の提言にまとめようかという方向がちょっと酒井委員のほうで提案していただけると、その方向性でまとまると思うんですけども、空き家対策について、空き家バンクができました。あまり機能はしていないかもしれないけど、できました。空き家・空き地対策について十分にうまく機能していないよね。じゃあ、どういった提言に持ってきて、どのような予算措置をするようなものを落とし込むかということについて、もし酒井委員のほうであれば。

○分科会長（中村 悟君） 酒井委員、何かありますか。

○分科会委員（酒井正司君） 私、団地の自治会長自体、もう本当に15年も前の話ですが、議員になってしっかりやれと言われたのはこの問題なんですよ、実はね。独自で自治会で名古屋の大学を呼んできて、団地の中の空き家を調べてもらったりもしましたが、結論的に、空き家問題がスムーズにいつているところはしっかりお金を出しているんですよ。長野県でもすごいところがありますけどね。だけど、金を出せというのは、今一番財政が逼迫しているので難しいんでね。

○分科会委員（川上文浩君） どういうものに金を出してみえるんですかね。

○分科会委員（酒井正司君） やっぱり補助ですよ。改造費だったり。だから、まさに20万円、30万円ばんばん出しているところがたくさんあるんです、先進事例としてね。だから、財政援助という言葉もちょっと言いにくいし、表向きにやれることは、今、川上委員言われたように表向きのことはやったわけですよ。バンクもやったし、審議会もつくったし、条例もつくったし、だけど機能していないわけですよ。だから、ジレンマなんですけど、大学の名前を出すというのもどうかなと思うんですが、思いつくのはそれぐらいかなあと。

学生が200人来るって、今、現状を調べたばかりですけど、あの地域にあんまり住んでくれないんですよ。恐らく今度、美濃加茂市とか犬山市に行っちゃうかもしれない。当然こちらへはある程度来られるんですが、そんだけのキャパがないんでね。何とかそういうきっかけづくりにつながるようなね。

○分科会長（中村 悟君） 要は空き家があるので、それなりに多少金をかけてでもちょっと住めるようにして、できればたくさんそこに住んでほしいという方向の文章をつくらなあかんということね。それを大学と言っちゃっていいのか。やることをやってみえるもんなあ。

単純に今までやってもらったことに、さらなるもっと努力して進めよなんていう文章では、今までも繰り返し多分やっておるのでどうかと思うし、あんまり具体的なことが言えるのかなあ。

○分科会委員（川上文浩君） 今までずっとこれについては、提言とか意見を出してきたので、そうなってくると、今まで出しているものと変わらないものになるか、新たなものという、今、現状で空き家・空き地に対する有効な手だてというのが見つからないわけですよ、多分。多分というか地域性もあるでしょうけれども、そういった意味では非常に難しいという感じもしないでもないです、提言として出すこと自体が。どこを落とし込んで、何に言葉に変えて提言していくのかというのは非常に難しいかなというのがあるので。

ちょっと暫時休憩を取ってもらって、委員長。

○分科会長（中村 悟君） すみません、それではちょっと暫時休憩といたします。

休憩 午前11時47分

再開 午前11時54分

○分科会長（中村 悟君） それでは、会議を再開いたします。

午後1時から改めて分科会を再開したいと思いますので、この間、またちょっと皆さん、知恵を巡らせて考えておいていただければありがたいと思います。

ということで、取りあえずこれで、休憩に入るということでよろしくお願いします。

休憩 午前11時55分

再開 午後1時02分

○分科会長（中村 悟君） それでは、昼前に引き続きまして分科会を始めたいと思います。

この休憩の間にいろいろ皆さん、また考えていただいたかと思いますが、ちょっと確認で、午前中にやったことの確認をしておきます。

予算決算委員会のところで出された1番目の災害に対応できる河川や道路の構築というのにつきましては、総務企画委員会のほうで関連で提言として出ておるということで、一応それにお任せするというのでこちらからは出さない。

もう一つ、2番目の空き家・空き地対策についてということにつきましては、これまでもいろいろ出しているということで取組をしたい案件ではありますが、文章をどうするかということで、午前中、取りあえずそこで止まっていたという状況であります。この休みの間にいろいろ考えていただいた件やらがあるということで、もうこれ出していただいたということでいいですね。委員のほうから、空き家・空き地も含めた2つばかり、新たなものも含めて2つ出していただきましたので、この2つについてを検討させていただくということでもよろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

それでは、一つずつ進めていきたいと思います。

まず最初に、空き家・空き地対策に対する提言という中で、ちょっと言い方が悪いけど、入り口をちょっと変えていただいた言い方で出していただいたかなあというふうに思いますが、どうでしょうか。これ文章は手元にありますよね。

取りあえず岐阜医療科学大学のというこの提言、案について何か御意見がありましたらお伺いをしますが。

○分科会委員（川上文浩君） 酒井委員と昼休み中に空き家と、これは帷子地区、西可児地区のことが中心になるわけですがけれども、岐阜医療科学大学の学生はいずれ1,000人になりますので、やっぱりまちづくりには十分生かしていくということが議会全体としても認知されているところですので、それとともに交流の機会を増やすとともに、近隣地区の空き家の利用促進などによって学生の住まいの環境を整えるということで、空き家をちょっと絡めさせていただいたということです。

行政側には、地域住民の交流の機会を増やす場をやっぱりつくるためには、予算も必要になってくるので、そういった展開する事業だとか、地元自治会を中心にしてこういった事業をやりたいという場合には予算措置をしてほしいということと、空き家などについて積極的に関わっていただいてマッチングなどを、全体で空き家バンクでやっているよではなくて、学生が住みやすいような空き家もあるでしょうし、共同でシェアハウスのにも使えるものもあるでしょうし、そういった部分では学生に特化した空き家の利用促進の仕組みなり、システムなり、広報活動なりというのに予算を割いてほしいというような思いで出しております。

○分科会長（中村 悟君） ありがとうございます。

ほかの委員の方で、今の趣旨を含めた上で何か御意見なりある方、よろしいですか。あと、文章のこの語句はどうかというようなことでも結構ですが、何かあれば。

〔挙手する者なし〕

酒井委員、人数はいいですか、入れなくて。あんまり露骨過ぎてあれですか。

○分科会委員（酒井正司君） いいです。

○分科会長（中村 悟君） 分かりました。

どうでしょうか。ちょっと別の切り口から一応内容を含んだものをつくっていただきましたが、よろしいでしょうか。何か意見があれば、それは駄目だという方がもし見えれば、よろしいですか。

○分科会委員（川上文浩君） もし皆さんでこれでいいですよということならば、最終的に予算決算委員会の本会のほうに言っていただくということで、ちょっと細かい文言の整備とか、今打ってもらっていますが、サブタイトルが要るので、そこはちょっとまたお任せするというか、正・副委員長と事務局にお任せしてつくっていただければというふうに思いますので、よろしくお願ひしたいなと思います。

○分科会長（中村 悟君） 頑張っって考えます。それで皆さん、了解いただければ。サブタイトルというかテーマをつけて。

じゃあ、これでよろしいですか。また、予算決算委員会のところで何かあれば修正される

と思いますが、じゃあ、うちの分科会としてはまず1つこれを出させていただくということ
でよろしいでしょうか。

〔挙手する者なし〕

ありがとうございます。

それじゃあ、これで一応、提言として出させていただきます。

続きまして、これ午前中になかった新しい案ですが、川上委員、御説明をお願いします。

○分科会委員（川上文浩君） 休み時間にちょっと広見地区センターなり、中恵土地区センターなり、広見東地区センターにいろいろ聞いてみたんですけれども、地区センターの利用は割と戻ってきているというような報告でしたが、どういったかというと、やはり広見地区センターですと体育館を中心に戻ってきているということで、以前のような戻りはないということで、やはり活動をいまだに再開できない、やはり心配で再開できないというところもたくさんあるということと、体育館は結構、外国籍の方が広見地区センターも積極的に使われているような状況です。

そういった中で、やはり自治会の活動やイベントもなかなか難しい状況ですので、読ませていただくと、新型コロナウイルス感染症の広がりによって、自治会や各種団体の活動、イベントの開催が困難となっていると。また、地区センターなどの利用についても、コロナ禍での新しい生活様式の適用により活動が制限されていると。今後の活動方法を試行するための支援をしてほしいということで、やはり新しい生活様式に利用する側が合わせるのは当然なんですけれども、やはり合わせ切れない部分もあるでしょうし、ハード的な面もあるので、そういう意味では、やはり新しく改修も含めて考えていただきたいということで提案させていただいております。新しい生活様式に合わせた地区センターなどの必要な改修を行うこと。支援と改修について提言させていただけたらということで、外国籍市民の皆さんを含めたということを含弧して追加させていただいているというような内容です。以上です。

○分科会長（中村 悟君） ありがとうございます。

何か御質問なりはよろしいですか。

あとは、施設の改修も含めておるということですね。

○分科会委員（川上文浩君） そうですね。ただ、具体的にどんな改修が必要かと聞かれると、いろいろ悩ましい問題もあるので。ただ、本当に空気を入れ替える、この窓開けだけでいいのかとか、そういうのがいろいろあるので、総合的に行政として判断してやっていただけたらなあというふうに思いますし、イベントはほぼ広見地区センターも全て中止になっておりますので、地区対抗でやる球技も駄目ですし、スポーツフェアも中止になっていきますし、落語の会も多分中止になるでしょうし、社会福祉協議会のやっているいろんなイベントも中止になっているので、ぜひともどうやったら開催してできるのかというような方向性も欲しいということで、これを出させていただきました。

○分科会長（中村 悟君） ありがとうございます。

ほかの委員の方、どうでしょう。特別な意見があれば。

ごめんなさい、私がちょっと、外国籍市民の方も含めたというのは、こういう書き方がいいのか、どこか文章にうまく入れたほうがいいのか、どういうもんなんですか。

○分科会委員（川上文浩君） 文章でうまく入れたいと思ったんですけど、その時間がなくて入れられなかったんで、なぜかという、それは言葉もあるでしょうし、地区センターというのは広く市民に使われる場所ですし、イベントもそうなんですけれども、外国籍市民を意識した部分でいくとやはりどこかに一言入っているといいなあと思って、本来はどこかに入れ込んでいただければと思ったんですけど、ちょっと時間がなくて入れ込めませんでしたということなんです。

○分科会長（中村 悟君） どうしましょうね、もしその点についてもまた事務局とうまく話ができそうなら、一旦入れておいてもいいです、どっか入りそうなら。またちょっとそれはこちらで調整させていただきます。

今のコロナ禍の各種団体への活動支援ということにつきましても、どうですかね、この分科会で一応提言として出させていただくということについて、出させていただくことによろしいでしょうか。御意見ある方、いいですか。

〔挙手する者なし〕

それじゃあ、申し訳ないです。お昼までかかってしまいましたが、以上2つは出させていただくということで了解をいただきました。

ほかに、新たに何か御意見のある方は、よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

いいですかね。この2つを第2分科会の提言として提案をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

この内容については、9月15日の予算決算委員会において報告をいたします。今ありました一部の変更等、若干のことは、正・副のほうで御一任をお願いしたいということで、再確認ですが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、本日は申し訳ないです、本当に昼までかかってすみませんが、散会といたします。よろしくお願いいたします。

それでは、これにて第2分科会を終了いたします。どうもありがとうございました。

閉会 午後1時14分

前記のとおり会議の次第を記載し、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和2年9月11日

可児市予算決算委員会第2分科会長